

教育長あいさつ

社会情勢はますます複雑化いたしました。児童生徒に悪い影響を与え、その非行もまた目だっております中で、皆様すでに御承知のように、要田中学校及び須賀川第三小学校において、いたましい事故が発生したことにかんがみ、ここに「児童生徒の非行防止について意見をきく会」を開催いたしましたところ、皆さんには、御多忙の中にもかかわらず、御参集いただきまして厚く御礼申し上げます。

最近の非行少年の特徴をみますと、低年齢下・集団化の傾向が指摘され、更には中流家庭の子弟にまで広がってきているところがあります。

また、補導の結果からみますと、非行の動機が単純で、でき心によるものや、衝動にかられて自ら判断をあやまり、ついに罪を犯してしまうもの、又は、遊び的なものなども多く、その要因は複雑であります。

これら非行の背景としましては、学校教育・家庭教育あるいは社会の風潮等がさまざまな形で複雑にからみあっているものと考えられます。

これらの問題に対処して、県教育委員会といたしまして、児童生徒の非行防止対策をたて、鋭意努力しておりますところであり、また、各学校においても児童生徒一人一人の個性・能力・悩み等をよく理解したうえで、特に、自制心や忍耐力をつちかう指導等に力を

入れ、家庭や地域の協力を得て非行防止に全力を尽くすよう指導しているところではありますが、今回のようないたましい事件の発生をみたことはまことに遺憾であります。

この事件は、特異なものとは考えられませんが、その教育行政のあり方についても深く反省すべき点があるのではないかと考えているところであります。

今更申し上げるまでもなく、児童生徒の健全育成は、単に学校教育のみでなし得るものではありません。

特に、現在の複雑な社会情勢にありましては、この感をいっそう深くしております。したがって、社会全体の積極的な協力を得て、早急にこれが対策を講じて参りたいと考えているし、どうぞでございます。

こうした意味で、本日はお集りいただきました皆様から御意見をお聞かせいただきますと存ずるし、でございます。どうかこの趣旨を御了解ください、それぞれのお立場からきたらない御意見をおよせくださるようお願い致しまして、ごあいさつといたします。

司会（平山次長）

ここで司会を選出してお願いするところですが、こちらで司会をつとめさせていただきます。今回の須賀川三小のような事件はまことにいたましく残念でございます。二度とこのような事

件が起こらないようにいたしたいと思っております。そのためにはどのように対処していけばよいか、みなさまの御意見を承りたいと存じます。

事件についての感想（略）

司会

出席をお願いした十三名の方、それぞれお一人ずつ全部の方に御意見をいただいたわけでございますが、今後の進め方を整理したいと思っております。今度の事件をどうお感じになられておりますかという問いかけを申し上げ、今後の対策にも触れた意見の開陳をいただいて、たいへんありがたかったわけですが今後御意見のしほり方として、まず学校教育、言いかえれば先生に何を望みたいかが第一点。第二点は、家庭教育、もつとわかり易く言えば世の中のお父さんお母さんがたに何を望みたいか。第三点地域社会ではどうすべきか言い換えれば我々大人は何をなすべきか。第四点行政に望むもの。こんな順序で更に御意見をいただきます。それでは最初に学校教育、先生がたに何を望むか、これは学校教育に携わっておられないかたに、御意見をいただいた方がよいかと思えますが、まず須賀川の佐藤さん先生がたに何を望みますか。御遠慮なくおっしゃっていただきたいと思えます。

佐藤

高校生の対策というとおかしいです

が、藤井先生のお話が全くすばらしいと思ってお聞きしました。小中学校の場合、先生ももう少し公正な気持ちで教科以外の生徒指導の時間をたくさん作っていただきたいということ。私たちだけでなく、多くの父兄のかたが言っていることでございます。

司会

福島一山の山川さん、先生がたに何を望みますか。

山川

さきほど申し上げたように、戦後とて、これが主流になりまして、これは戦前の教育にしかるしつけというものが多いですが、反動でそうなっているのかもしれないが、ほめる教育が多すぎて、しかるということがタブーのように考えられているのではないかと。親も先生も子供をしからない。このことから、子供たちに自制的なものが欠如するといふことが起きてると思えます。家庭でも、充分しかつていい要素があるにもかかわらずしからぬのであまやかしてしまおうということがありますし、学校の先生も他人の子供を扱っているからしからぬ。もつとしかる姿勢があつてもよいのではないかと。未熟な子供の成長過程でしかるということは逆に言えば反抗ということに結びつくかもしれないが、その辺の指導があつてしかるならば、おおいにしかつていただきたいと思えます。